

2021年度  
第5回 理事会議事録

2022年 1月 14日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2021年度 第5回理事会議事録

1. 日 時 2022年 1月 14日 (金) 12:25～14:10
2. 場 所 鉄鋼会館802号室
3. 構 成 員 16名
4. 出席構成員 15名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議 事 次 第
  - (1) 開会の辞
  - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
  - (3) 会長挨拶
  - (4) 前回理事会議事録の確認
  - (5) 審議事項  
第1号議案 鉄骨技術審議会委員の新任委員選任について
  - (6) 報告事項
    - 1) 品質管理体制の維持と不正防止策について
    - 2) 指定塗料の価格改定について
    - 3) 青年部会ブロック長との意見交換実施報告について
    - 4) 国際ウェルディングショーへの出展準備について
    - 5) 委員会等活動状況報告
      - ①ホームページ改造WG
      - ②鉄骨材料入手難対策WG
    - 6) その他 (次期会長の推薦案について)
  - (7) その他の定例報告事項
    - 1) 構成員登録状況
    - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
    - 3) 主要会議日程
    - 4) 支部報告
  - (8) 閉会の辞

## 6. 議事要旨

### (1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、理事総数 16 名のうち、福田理事が欠席されているため出席理事数は 15 名であり、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされている旨、報告された。

### (3) 会長挨拶

米森会長より「新型コロナウイルス感染が再拡大する中、また一部の方については大雪の中を、その雪のために止む無く欠席となった 1 名を除いて全員の方にお集まりいただき感謝いたします。この感染症は、この先も当分の間続くと予想されるので、各社の仕事も協会の運営もその前提で進めていかなければならず、様々な制約はありますがよろしくお願ひします。

設備投資につきまして、以前から申し上げているとおり、増産のためではなく、効率化、省力化、品質向上のためのものにするべきと考えていますが、今後は設備投資より人への投資を行うことがより重要です。社員の教育や育成など、教育センターの機能も活用して進めていきたいと思ひます。

鉄骨需要については、小規模物件は予断を許さない状況ですが、再開発物件等の大型工事は順調に出てくる見通しですので、量的には減ることはないと予測されます。心配なことは、その需要に見合った材料を必要なタイミングで調達できるか、ということで、この点には注意を要します。

また、AI などデジタル技術も利用した業務改善も含め、業界をさらに発展させたいと考えていますので、本年もご協力をよろしくお願ひします。」との挨拶があった。

### (4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が要点を読み上げ、確認、了承された。

### (5) 審議事項

#### 1) 第 1 号議案 鉄骨技術審議会委員の新任委員選任について

鉄骨技術審議会の委員に関し、鉄骨技術審議会規約第 3 項により 2022 年 3 月末日付で 5 名の委員が退任することにもない、その後任として 6 名をあらたに委員に選任する案が議案書[理 21-5-議 1] (p3) にそって小貫専務理事より説明された。

本案に対する意見等はなく承認され、本年 4 月 1 日付で委員を委嘱することとした。

## (6) 報告事項

### 1) 品質管理体制の維持と不正防止策について

昨年、当協会構成員の国交大臣認定工場で技術者資格に係る不正事案が発生したことをふまえ、不正防止と品質体制維持・強化に向けた対応を促す構成員宛の文書及びホームページへの掲載文書について、議案書[理 21-5-報 1] (p7-8)にそって小貫専務理事より説明された。

また、資格保有者の管理と資格の有効期限を確認するためのツールとなるエクセルシートが議案書 (p9-10)で例示され、協会ホームページからダウンロードできるようにすることが伝えられた。

### 2) 指定塗料の価格改定について

共済事業の指定塗料の協力販売価格に関し、最近の原油及びナフサ価格の高騰を背景に 2022 年 1 月～3 月の価格を改定したい旨 大日本塗料(株)から要望があり、石油関連製品価格の急激な高騰を考慮すると要望を受け入れざるを得ないと判断し、昨年末 12 月 20 日付で正会員宛に通知文書を送付したことが議案書[理 21-5-報 2] (p11-14)にそって小貫専務理事より報告された。

### 3) 青年部会ブロック長との意見交換実施報告

11 月 16 日に開催された青年部会ブロック長との意見交換会の出席者に対して実施した、意見交換会に関するアンケートへの回答一覧が議案書[理 21-5-報 3] (p17-18)により示され、意見交換会において宿題となった「青年部会が求める研修テーマ」については、教育センターとも協力して引続き検討することが小貫専務理事より報告された。

また、教育センターにおいては、同センターとして取組むべき教育テーマについて会員の意見を求めていることが、米森会長より報告された。

### 4) 国際ウェルディングショーへの出展準備について

前回(第 4 回 11 月 16 日開催)理事会で承認された国際ウェルディングショーへの出展に関し、その準備状況について、出展方針、検討体制 等が議案書[理 21-5-報 4] (p19)にそって小貫専務理事より報告された。

### 5) 委員会等活動状況報告

#### ①ホームページ改造WG

現在作成中の改造ホームページに関し、基本仕様、トップページのデザイン、構成(サイトマップ)、大臣認定工場の検索仕様、大臣認定工場の情報登録方法等、及び見積金額等について、議案書[理 21-5-報 5①] (p21-25)にそって千田技術部担当部長より報告された。

また、事業計画では、完成は来年度の予定であるため今年度は予算措置しなかったが、作業が順調に進んでいること、今年度予算に余裕があることから、今年度内に完成させたいうえで今年度の予算で処理することが追加説明された。

#### ②鉄骨材料入手難対策WG

「鉄骨材料価格高騰及び納期の長期化」が問題化した以降の、この問題への一

連の取組み内容が、議案書[理 21-5-報 5②] (p27)にそって事務局より説明された。

また、各都道府県における要望活動の進捗状況について、「実施済み及び実施案作成済」の組合が 37、「検討中」が 10 であることなどが報告された。

#### 6) その他 (次期会長の推薦案について)

来年度の役員改選にともなう次期会長の候補案に関して、前回(第 4 回 11 月 16 日開催)理事会において、米森会長に候補者を推薦していただくことが了承されたことを受け、米森会長より候補者案について以下のとおり説明された。

- ・候補者の選定に際しては、これまでの協会役員経験者をはじめ多くの関係者から幅広く意見をお聞きしたうえで熟慮の結果、永井副会長を推薦させていただくこととした。年齢的にも若く、デジタル化や環境対応だけでなく、これからの社会的な構造変化にも積極的に取り組んで頂ける適任者だと確信している。

本案に対する意見等はなく、出席者全員が拍手をもって賛成した。

引く続き、永井副会長が以下のとおり挨拶された。

- ・昨年末頃より米森会長から推薦のお話をいただきました。
- ・米森会長のように長期間務めることは難しいが、2 期 4 年程度を目途にお引き受けする覚悟を決めました。
- ・2200 社の先頭に立つわけで身が引き締まる思いですが、皆様のご協力と諸先輩のご指導をいただきながら頑張ってみようと思っています。
- ・米森会長の下で 4 年間副会長を務め、様々な経験をし、勉強もさせていただいたので、その経験を活かして、まずは、米森会長が敷かれた路線を引き継ぎ、同時に、次世代への引継ぎ役としての使命も果たしたいと考えていますので、よろしくお願いします。
- ・新役員体制について、支部長理事については各支部からの推薦に依りますが、副会長等他の役員については、私に一任していただくようお願いします。一人で決めるのではなく、諸先輩や周囲の方々と相談のうえ選定させていただき、その結果については 3 月開催の理事会でお知らせしたいと思っていますので、ご協力をよろしくお願いします。この中のどなたかにもお願いすることがあるかもしれないので、その節はよろしくお願いします。

再度、米森会長より以下の発言があった。

- ・私も、最初に選任された時には 2 期 4 年程度と考えていたが、いろいろな事情で長く務めることになり大変な思いもしたが、4 年程度なら何とか頑張っていただけと思っていますので、周囲の方の協力もよろしくお願いします。

最後に、小貫専務理事より「次期会長は、本年 6 月の総会で選任される理事で構成される理事会の決議により、その理事の中から選定されることが定款上の手

続きですので、本日の本理事会での決定は、『次期理事会に対する推薦案』という位置付けになるのでご留意いただきたい。」との説明がなされた。

また、「支部長以外の、新副会長候補者等新役員の選定は永井副会長に一任し、3月の理事会で発表していただくこと」について、承認することが拍手をもって確認された。

## (7) その他の定例報告事項

### 1) 構成員登録状況

前回報告以降の新規登録3社、取消5社で、2022年1月7日時点の構成員登録数は2,207社であること等が、議案書[理21-5-他1](p30-34)により事務局から報告された。

### 2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2021年11月の鉄骨推計需要は約35.3万トン(前年同月比12.5%増)で、昨年1月以降対前年比増が続いていることなどが議案書[理21-5-他2](p35)により事務局から報告された。

### 3) 主要会議日程

2021年度の主要会議日程について、主な変更点等が議案書[理21-5-他3](p36)により事務局から以下のとおり報告された。

- ・2月21日の理事会について、沖縄開催は取りやめ、オンラインでの開催とする。同日の懇親会も中止する。

### 4) 支部報告

#### 〔北海道〕

- ・12月10日に役員会、交流会を開催した。
- ・手持工事量は、S・Hグレードファブが3～9ヶ月、Mが1～3ヶ月、R・Jが1～3ヶ月。
- ・稼働率は、75～100%。
- ・見積物件数は、前回理事会では「増加傾向にある」と報告したが、足元では「少ない」になっている。
- ・鋼材価格の上昇及び納期の長期化は深刻な状況が続いている。

#### 〔東北〕

- ・12月9日に支部会を開催し、2月17日に予定している東北地方整備局との意見交換会について協議した。
- ・12月22日に、事務局長会議及び支部共済推進会議を開催した。
- ・手持工事量は、S・Hが6～12ヶ月、Mが3～6ヶ月、R・Jが1～4ヶ月。
- ・稼働率は、90～100%。
- ・見積物件数は、山形県の「多い」以外は全県「少ない」となっている。
- ・鋼材価格の上昇及び納期の長期化は深刻な状況が続いており、それ以外の資材についても同様の傾向が現れており、これらを鉄骨価格に適切に転嫁して加工費を確保することが重要な課題になっている。

## 〔関東〕

- ・11月24日に女子職員研修会を開催し、例年以上に活発な意見が出された。
- ・12月7日に支部会を対面・オンライン混合で開催した。
- ・12月16日に支部運営委員会を開催した。
- ・手持工事量は、Sでは1年以上のファブも増えつつある。
- ・鋼材価格の上昇及び納期の長期化は深刻な状況が続いているが、鉄骨受注価格への転嫁が僅かずつではあるが進んでいるとの声も聞かれ、また、見積件数も回復の兆しがみられる。
- ・一方で、S造からRC造への設計変更の話も聞かれる。

## 〔北陸〕

- ・11、12月は、コロナ禍が落ち着いたことにより各県の組合活動が再開されたが、1月は感染再拡大により一転、新年賀詞交歓会は3県とも中止になった。
- ・手持工事量は前回報告とほぼ同レベルで、Hが6～12ヶ月、Mが2、3～6ヶ月、R・Jが1～3ヶ月。
- ・稼働率は、70～100%。
- ・見積物件数は、「普通」か「やや少なめ」である。
- ・受注価格については、材料価格上昇分の転嫁が課題になっている。
- ・地元物件が少ない状況が続いているが、鋼材の調達難のためにゼネコンが様子見をしていることが背景にあるとの見方もある。

## 〔中部〕

- ・12月23日に中部地方整備局を訪問し、鋼材価格高騰及び納期長期化への対応に関する要望を行った。同時に、溶接ヒューム規制にともなうコスト上昇についても対応をお願いした。各県における自治体及びゼネコン業界に対する要望活動も今後実施する予定である。
- ・手持工事量は、Hが3～15ヶ月、Mが1～10ヶ月、R・Jが1～5ヶ月。
- ・稼働率は、50～150%とファブ間格差が大きくなっている。横のつながりをしっかりさせて、仕事量が少ないファブは、多いファブの2次下請けで凌ぐ体制をとっている。
- ・見積物件数は、「普通」である。
- ・材料価格の上昇を、受注価格に転嫁させるよう取組みを強化したいと考えている。

## 〔近畿〕

- ・11月、12月は各県において理事会が開催された。
- ・11月4日に、近畿支部会を三重県で開催した。中部支部との合同支部会を開催する予定であったが、コロナ禍のため近畿単独での開催となった。
- ・12月17日に、毎年行っている商社との交流会を大阪で開催した。鋼材価格高騰、入手難についてはファブ、商社各々の認識にズレはなかった。人材確保に係るコストアップ分も含めて鉄骨価格に転嫁させる必要がある点について、商社側に理解してもらった。
- ・手持工事量は、Hが10～12ヶ月、Mが2～4ヶ月、R・Jが1～3ヶ月。
- ・鋼材価格は高止まり状態で、入手難は相変わらずである。

- ・受注量は、足元では安定しないが 4 月以降は予定物件が発注されると見込んでいる。
- ・鉄骨材料価格高騰及び入手難に関して近畿支部からは嘆願書を提出させていただいたが、本課題に対して三役をはじめ迅速に対応していただき、近畿支部を代表してお礼を申し上げます。

#### 〔四国〕

- ・11 月、12 月は、コロナ禍が落ち着いた状態であり、久しぶりに支部及び組合の活動ができ、11 月 9 日に支部会を開催した。来年度は役員の改選期であり、四国支部は輪番制で運営しているので、その説明を行った。
- ・手持仕事量、見積物件とも、Hグレードを除いて極端に少なく、ファブ間で仕事を分け合って凌いでいる。

#### 〔九州〕

- ・12 月 2 日に H 部会、23 日に支部理事会、28 日に事務局 WEB 会議を開催した。
- ・稼働率は、材料調達難の影響で低めになっているファブがある。
- ・見積量は少なめである。
- ・T SMC をはじめ大型物件の計画があり、この 1～2 年で集中して発注される見通しであるが、中小物件が極端に少なく、Hファブは先々の仕事まで確保している一方で、M以下は苦戦している。

#### (8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項、その他の定例報告事項等、予定された全ての事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

<u>役 職</u>	<u>氏 名</u>
会 長	米 森 昭 夫
副 会 長	永 井 毅
〃	大 島 嗣 雄
〃	山 本 泰 徳
専務理事	小 貫 武
常務理事	大 橋 利 勝
理 事	佐 藤 正 記
〃	渡 辺 勝
〃	大 竹 良 明
〃	寺 田 健 信
〃	多和田 桂 太 郎
〃	出 雲 津 芳
〃	井 原 常 裕
〃	岩 永 洋 尚
〃	辰 巳 功
監 事	村 上 眞 樹
〃	野 田 博 文
〃	高 橋 伸 和

理事総数 16名 うち出席者 15名 [欠席：1名<福田理事>]  
監事総数 3名 うち出席者 3名